

経済建設委員会記録

1 日 時 令和6年12月13日(金)
午前10時00分 開会
午前10時44分 閉会

2 場 所 第3委員会室

3 出席委員 委員長 越 智 克 範 副委員長 河 内 優 子
委員 小 野 志 保 委員 伊 藤 義 男
委員 神 野 恭 多 委員 高 塚 広 義
委員 大 條 雅 久 委員 仙 波 憲 一

4 欠席委員 な し

5 説明のため出席した者

・市長 古 川 拓 哉

・経済部

部長 宮 崎 司 総括次長(地域交通課長) 小 島 篤
産業振興課長 佐 藤 秀 樹 観光物産課長 越 智 美 保
農林水産課長 菅 裕 二 農林水産課長 菅 裕 二

・建設部

部長 高 橋 宣 行 総括次長(都市計画課長) 町 田 京 三
技術監 清 水 康 治 建築住宅課長 村 瀬 秀 昭
道路課長 亀 井 英 明 道路課技幹 黒 田 雅 人

・上下水道局

局長 玉 井 和 彦 総括次長(企画経営課長) 藤 田 英 友

6 委員外議員

井谷 幸恵 議員

7 議会事務局職員出席者

議事課長 徳永 易丈 係長 伊藤 博徳

8 本日の会議に付した事件

別紙付託案件表のとおり

9 会議の概要

○ 開 会 午前 10時00分

●越智委員長：開会挨拶

○古川市長：挨拶

(1) 付託案件審査

◎経済部関係

◇議案第77号 令和6年度新居浜市一般会計補正予算（第5号）

○小島経済部総括次長（地域交通課長）：説明

< 質 疑 >

- 伊藤委員：大阪・関西万博PR推進事業費について、今後のイベントで、インバウンドの需要とか国内旅行客の需要ってどれだけ見込めるのかということを出しているのか。算出していないのであれば、どの程度を希望しているのかを教えてください。
- 越智観光物産課長：プロモーション事業に関しては、イベント当日、5月21日の事前プロモーションを考えている。規模としては、1万人ぐらいの入場を考えているため、そこに来てもらえるだけのプロモーションをしたいと考えている。あと、事後のプロモーションとしては、外国人に関しての数字は出てはいないが、万博の想定の入場者数が2820万人と聞いているので、少しでも多く新居浜市に来てもらえるようなプロモーションをしていきたいと考えている。
- 大條委員：大阪・関西万博PR推進事業費について、この委託料が上がっている催事企画運営業務、プロモーション業務とあるが、具体的に何を委託するのか。507万7,000円の費用をかけて、この委託部分で何ができるのか。
- 越智観光物産課長：催事企画運営業務に関しては、5月21日の本番に先立って、事前に博覧会協会に図面やイベント内容など、そういった書類等を制作して提出する必要があるため、そのあたりの企画運営をする業務として委託を考えている。プロモーションに関しては、当日に来ていただくための事前プロモーションに係る準備の経費を考えている。
- 大條委員：博覧会協会との書類のやりとりだけで500万って話なのか。目標値とかこのイベントで新居浜市にとってどんなメリットが返ってくるのか、契約の中にそういうものはないのか。
- 越智観光物産課長：催事企画運営業務に関しては、当日の動きというか、イベントの内容などを組み上げてもらうような経費になっている。もちろん実施報告とか内容精査なども含む経費と考えている。
- 大條委員：このイベントで観客を何人動員したいのか、万博に来た観客にどう注目してもらうのか、それが新居浜にとってどういうふうに返ってくるのか、そういう目標値とか、約束での委託ではないのか。
- 越智観光物産課長：今回12月補正で計上している部分に関しては、準備にかかる経費という形で考えている。まずは当日どういったイベントをするのかというのを組み上げるための経費として計上している。また、来年度の中で、誘客に繋がるようなプロモーションを実際やっていこうと

考えているので、今回についてはあくまでも準備の経費という形で、2月、3月と打ち合わせなどをしていくが、実際にどういった内容をしていくのかというものを作り上げていくような経費というふうに考えている。

- 大條委員**：じゃあ、追加があるのか。どういうものをやるか、どういうものをしていくことがベターなのかというやりとりをして、最後、内容が決まったときに追加での支払いが必要になってくるのか。それともこれ以上追加する必要ないということか。
- 越智観光物産課長**：令和7年度の当初予算に、来年度の分の費用は計上する予定である。実際に誘客の細かい部分などは次年度の予算の中でやっていく形になる。
- 神野委員**：太鼓台の派遣について、3台を派遣するということだが、今後どういったスケジュールで決めていくのか。また、今回、自己負担が発生する可能性があると聞いているが、そこに至った経緯や理由は。今までの流れで言えば、派遣要請であるので、本来であれば自己負担が発生すべきではないと感じるがそうなった理由。あと、今までに東京ドームに行った太鼓台も関係なく選定すると聞いているが、市の派遣業務なので、本来であれば順番に回していくべきだと思うが、そのあたりと、太鼓台を主軸としたイベントとなっているが、太鼓台以外のイベントはどういったものを考えているのか。
- 越智観光物産課長**：太鼓台派遣の経費負担に関しては、新居浜市としては、派遣太鼓台に対して、太鼓台を移送するお金と謝礼を支出する予定にしており、かき夫等の参加旅費の半分を自己負担してもらうような形で考えている。これに関しては、前回の東京ドームでも、皆さんの個人負担は1万円ということで負担をしてもらっており、それに準じて、半額補助する形で考えている。自己負担を取る形になった経緯についても同様に、東京ドームと同じような派遣という形で考えている。イベントの内容については、太鼓台を派遣したかき比べという本番さながらのイベントを考えている。また、万博来場者に対して、太鼓台のかき夫体験や触れてもらう体験のイベントを予定しているほか、ステージ上で踊りの披露や、本番の映像放映、別子銅山関係の情報展示とかをしていきたいと考えている。催事企画運営の業者決定後に、細かいところは詰めていきたい。太鼓台の選定については、11月27日の新居浜市太鼓祭り推進委員会小委員会で、派遣の条件等、募集要項等を各地区太鼓台運営委員会・協議会の代表者に配布し、12月9日に派遣を希望する太鼓台の方に集まってもらい、説明会を行った。応募締め切りは1月6日としているので、そこまでに応募のあった太鼓台の中から選定する予定としている。3台を超える場合は抽選という形で1月末までには決定したいと考えている。
- 神野議員**：3台をオーバーした場合に、東京ドームにすでに出したところは辞退してもらうとかそういうことは考えていないのか。あと、踊りの披露をするとあったが、太鼓台と踊りって今どう結びつくのかちょっとわからないが、詳細を決めていくのは今後という話だったが、こういう二度と体験できないような機会であるので、高校生や中学生など、そういったところを巻き込むようなことは考えているのか。
- 越智観光物産課長**：オーバーした場合の選定方法については、今後、再度詰めていきたいと考えているが、東京ドームに出たから遠慮してもらおうといったことは考えていない。イベント等について、現在想定している踊りのグループに関しては、通常から太鼓祭りを掲げて活動しているグ

ループを考えているので、そのあたりの関連性でお願いしたいと考えている。

中学生や高校生の参加については、今検討しているのは、できればボランティアのような形で、運営の方に携わってもらうようなことを検討している。また、別子銅山関係のSDGs 関連などの発表については、新居浜南高等学校の学生などにもぜひ参加してもらえたらと考えている。

- 伊藤委員：大阪・関西万博 PR 推進事業費について、太鼓台派遣で青年団とかかき夫の日程が過酷という話を聞いたが、何か対策を考えているのか。あと、新居浜市のPR事業で、新居浜市に経済波及効果を生むためにやる事業であって、太鼓台派遣はそのPRのツールという認識であるが、太鼓台を出すことが主だと思っている市民が少なくないと思う。そのあたり、市民にどう周知していくのか。
- 越智観光物産課長：太鼓台派遣のかき夫等の移動手段がちょっと過酷だと言われたと思うが、かき夫派遣のために移動手段を検討したが、バスに関しては運転手不足などもあり、確保がしにくい部分もあるので、押さえられるところで押さえたバスのスケジュールはどうしても過密スケジュールになっている。船を使用する場合は若干、その中で休憩できると思う。新居浜市が会場を借りているのが1日だけというのもあり、少し過密スケジュールになってしまっていることは申し訳ないと思うが、市が確保している交通手段を使つての参加をお願いしたい。新居浜市のPRとしてのツールという認識については、市民に対しても今後、市政だよりなどで広報しながら新居浜市をPRしていくということを伝えていきたい。
- 伊藤委員：大島林地法面対策事業について、数年間この西側は放置されていたと思うが、放置されていた理由は。
- 菅農林水産課長：実際、工事をするにあたり、市債、緊急自然災害防止対策事業債を使うということも検討しており、時間的に遅くなった。
- 伊藤委員：東西が崩れたときに島の北側に行けなくなる状況があったと思うが、行けなくなることによって、島の人に弊害はなかったのか。
- 菅農林水産課長：通行の弊害については、少し狭いところなどもあるが、とりあえずは迂回できる道路があるので、何とか対応ができる範囲であると考えている。
- 伊藤委員：弊害はないということによいか。
- 菅農林水産課長：弊害はないと考えている。

* 後刻一括採決

◇請願第12号 最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出方について

< 意見・討論 > なし

< 採決 > 賛成少数 不採決

休憩 午前10時26分 / 再開 午前10時28分

◎建設部関係

◇議案第74号 新居浜市市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

○村瀬建築住宅課長：説明

< 質 疑 >

●神野委員：こういった公共施設を削減していくことに関しては賛成だが、今回、別子の方からの声があれば教えてほしい。

○村瀬建築住宅課長：この施設の縮減を進めるに当たっては、移転してもらう必要があるのですが、当時住んでいた居住者の対応をした。別子山地区には代わりになる民間の住宅があまりないということと、新居浜市の空いている市営住宅を数か所案内したが、住み慣れた別子山から動きたくないという人がほとんどで、高齢の人も多く、この移転に関しては難航した。

< 討 論 > なし

< 採 決 > 全会一致 原案可決

◇議案第77号 令和6年度新居浜市一般会計補正予算（第5号）

○町田建設部総括次長（都市計画課長）：説明

< 質 疑 >

●伊藤委員：道路橋りょう災害復旧費について、時間外勤務手当が計上されているが、時間内に収めることはできない状態なのか。

○亀井道路課長：災害復旧工事は国費で実施することから、申請等の事務手続には期限があり、時間を要してしまうため補正予算を計上している。

< 討 論 > なし

< 採 決 > 全会一致 原案可決

休憩 午前10時37分／再開 午前10時38分

◎上下水道局関係

◇議案第79号 令和6年度新居浜市水道事業会計補正予算（第1号）

○藤田上下水道局総括次長（企画経営課長）：説明

< 質 疑 > なし

< 討 論 > なし

< 採 決 > 全会一致 原案可決

◇議案第80号 令和6年度新居浜市公共下水道事業会計補正予算（第1号）

○藤田上下水道局総括次長（企画経営課長）：説明

< 質 疑 >

●仙波委員：新たなってというのは、どういう意味か。例えば、今まで10円だったのを15円にするとか、両方を一緒にするとか、新たな料金システムというのはどこが変わるのか。

○藤田上下水道局総括次長（企画経営課長）：現在、BSNという新潟の会社のシステムを使っている。今回システムのバージョンが変わり、会社の方から今後の保守が難しいという話があったので、徴収業務と一緒にして業者を公募する。基本的にはシステム業者が変わると思うので、開発期間も必要であることから、1年間早く令和6年度に前倒しして、債務負担行為をして、事業者を公募することとしている。

●神野委員：今後導入しようとしているウォーターPPPとの関連はないのか。

○藤田上下水道局総括次長（企画経営課長）：ウォーターPPPとは完全に別で、ウォーターPPPはどちらかというと施設の保守業務というのがメインになる。今回の料金とか徴収業務委託とはまた別ものになる。

< 討 論 > なし

< 採 決 > 全会一致 原案可決

○ 閉 会 午前10時44分 閉会

経済建設委員会付託案件表

令和6年12月13日

○経済部関係

議案第77号 令和6年度新居浜市一般会計補正予算（第5号）

| | | |
|-----|------------------------------------|------|
| 第1表 | 歳入歳出予算補正中 | ページ |
| 歳出 | 第6款 農林水産業費 | 5・26 |
| | 第7款 商工費 | 5・27 |
| 第3表 | 繰越明許費 | 7 |
| 第4表 | 債務負担行為補正 追加 | |
| | 大阪・関西万博における催事企画運營業務等及び太鼓台等派遣に要する経費 | 8 |

請願第12号 最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出方について

○建設部関係

議案第74号 新居浜市市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

議案第77号 令和6年度新居浜市一般会計補正予算（第5号）

| | | |
|-----|--------------|------|
| 第1表 | 歳入歳出予算補正中 | |
| 歳出 | 第11款 災害復旧費 | 5・31 |
| 第4表 | 債務負担行為補正 追加 | |
| | 道路整備事業 | 8 |
| | 新居浜東港線側道整備事業 | 8 |

○上下水道局関係

議案第79号 令和6年度新居浜市水道事業会計補正予算（第1号）

議案第80号 令和6年度新居浜市公共下水道事業会計補正予算（第1号）